

2026年度一般選抜(TEAPスコア利用方式)記述式問題 解答例

科目:2月6日 TEAP日本史

問5

朝鮮における治安維持法の検挙数は概ね日本国内より少ないにもかかわらず、起訴率が高い。

問8

史料1では女性は選挙権を持たないと規定し、史料2では女性が政治集会や政社に参加することを禁止し、史料3では学問の自由は男性に限定されている。いずれも公的な領域における女性の権利や自由を制限している。

問9

共通点としては、戦後一宗教法人となった靖国神社への戦死者の合祀が事前に遺族に同意を取ることもなく行われたため、日本国憲法が定める遺族個人の信教の自由や思想・良心の自由に反すると異議申し立てを行っている。

史料1の場合は、僧侶である父親が靖国に合祀されたことで父の信教の自由が侵害されたと訴え、南方の戦地において武器も食料も与えずに多くの兵士の餓死を引き起こした国家の責任を問うている。

史料2は、数多くの民間人が犠牲となった沖縄戦で母親を失った遺族の事例である。母親は日本軍に壕から追い出されて爆死した被害者であるにもかかわらず、戦争を賛美する靖国神社に合祀されることを拒否している。

史料3は、日本が植民地支配をしていた韓国の遺族の事例である。戦前の日本が同化政策として靖国神社参拝を朝鮮の人々に強制したこと、靖国神社が侵略戦争を美化する宗教施設であることから、合祀を拒否している。